

## 当日の流れ

1. オリエンテーション（石岡未来会議の目指すもの・グラドルールの説明）
2. 参加者自己紹介
3. 話題提供①「市民会館の役割」・「いしおか子ども劇場の25年」
4. グループ対話①  
「話題提供を受けての感想・質問」  
「子どもの頃から振り返って、あなたはどんな文化活動を体験してきましたか」  
「この先、あなたはどんな文化活動をやってみたいと思いますか」
5. 全体共有①
6. グループ対話②  
「文化活動が生まれたり、活性化したりするための仕組みや機能は何だと思えますか？」  
「必要な仕組みや機能のベスト5（その理由も含めて）は何ですか？」
7. 全体共有②

**当日の参加者** 28人（内訳：男性17人・女性11人で、年齢層は16歳～85歳）

## 要約

### 話題提供①「石岡市民会館の利用状況・市内類似施設の状況」・「いしおか子ども劇場の25年」

- 石岡市民会館の利用状況（施設機能、使用者数推移、利用目的・団体・料金）と市内類似施設（中央公民館・ひまわりの館のホールサイズ・利用料金）などを確認した。
- その後、いしおか子ども劇場の代表の川俣佐代子さんに、活動の成果と現状の課題、今後への期待などを伺った。いしおか子ども劇場は、石岡市民会館をはじめとした市内公共施設で、親子を対象にした文化活動（舞台鑑賞やワークショップ）を行ってきた。

## グループ対話①

### 話題提供を受けて、さらに聞いてみたいと思ったことはありますか？

- いしおか子ども劇場は、素晴らしい活動。設立当初の1995年には30家族ほどいた会員も、今は7家族（子どもの会員はなし）。活動の継続が難しいのが課題ということだったが、活動資金があれば解決されるのか。活動の継続が難しいのは、子どもが減っているからなのか。（→運営のマンパワー不足。参加者は集まるが、運営側に回る人がなかなか見つからない。こどもの減少。会員の減少に伴う活動資金の減少）
- 子育て支援に関心をもって活動していたのに、子ども劇場さんの活動を知らなかった。どうしたら、もっと早く知ることができたのかなと思う。（→効果的な情報発信が行えていない。市民活動団体同士のつながりの機会の不足）

### 子どもの頃から振り返って、あなたは、どんな文化活動を体験してきましたか？

- （参加者が行っていた・いる活動）合唱団つくばおろし、小中学校の合唱祭、石岡囃子、おまつりの参加、吹奏楽・オーケストラ、青年団での統一劇場公演・盆踊り大会運営、民謡舞踊連合会でイベントの裏方
- （参加者が鑑賞した記憶に残る舞台等）バイオリンコンサート（常陸大宮市・結城市）、能（土浦市）、ヘンゼルとグレーテル（埼玉県）、石岡市民ミュージカル龍神さまの祝い丘（石岡市）、ゴンチチライブ（石岡市）、森は生きている（石岡市）、肝高の阿麻和利（小美玉市）、ねぶたまつり（青森県）、山古志の視察（新潟県）、石岡囃子連合会発表会（石岡市）、なかまるみちえさんのオペラ（東京？）、コンサート（初台・ノバホール）、石岡市民会館は成人式の送迎しか行ったことがない

### あなたは、どんな文化活動だったら、今後、参加してみたいですか？やってみたいですか？

- プロの舞台（例：音響がよいホールでの音楽鑑賞）
- 敷居は低く、自分たちも、参加・発表できる
- 地域のつながりを感じられ、多世代で関われる
- 子どもが安心して自由に過ごせる
- 石岡の文化（例：酒造り・農業・お囃子・産業など）に、スポットがあてられている

## グループ対話②

■グループ対話①を受けて、グループ対話②では、「あなたが参加したいと思える文化活動が生まれたり、活性化したりする仕組みや機能は何だと思えますか。トップ5をグループで決めてください」という問いを用意した。

各グループでは、問い（仕組みや機能）について話し合う前に、「文化」という言葉の定義についての話が多く出されていた。

### ■文化とは何か？（各グループから出てきたキーワード）

プライドや誇りに思えるもの●みんなが楽しめるもの●石岡のおまつり●人と人が触れ合うことができるもの●対話がある＝文化につながる●みんなでできること●共有して幸福を得られることができるもの●箱物だけではない●多種多様な人の関わり●心を耕すこと●出会いで出来あがるもの●つながっていくこと●伝わっていくこと●広がっていくこと●これは良いことだから広めたいという想い●ひとを大切にすること、それを人に伝えていくこと●地域に根差したアイデンティティ。自分の地域を知って情報発信すること●文化＝歴史●文化の施設を創れば、文化が育つのかな？文化が育つ施設を創るのが大事●体験して生活の中に取り込んでいくこと＝文化●未来会議を、30年後の子供に褒められる会議にすること●バックグラウンドが違っていても、それをシェアしていくことで文化ができる

### 文化活動が生まれたり、活性化したりするための仕組みや機能は何だと思えますか？

#### ■グループ 01

1. 見られる(知る)場所があること
2. ○○をやる団体があること
3. 発表する場所があること
4. 集まれる場所があること
5. 自由に(安く)できること

#### ■グループ 02

- ・文化活動をしたい人をつなぐコーディネーター
- ・音響やピアノなどの設備のよさ
- ・市民参加の人が運営チーム
- ・社会福祉協議会のミニサロン
- ・若い世代などの楽しいお祭り体験

#### ■グループ 03

- ・プロの文化に触る、人を巻き込むWS
- ・コミュニティが生まれる出会いの場
- ・歩行者天国のような道（ストリート）
- ・人の育成をしていく（小美玉市を参考に）

#### ■グループ 04

- ・箱物ありきではなく、活動そのものが文化
- ・市内での活動を可視化し、興味ある人同士がつながる場。ZOOMなどこういった場をもっと活用していく
- ・観光客も石岡のおまつりに参加できる仕掛け（山車を引くなど）

#### ■グループ 05

- 1 足の便が大切。アクセスのよさ
- 2 自分のアイデアを形にできる・人がつながれる
- 3 まつり。学べたり、体験できたりする施設

#### ■グループ 06

1. 人が集まれる場所(こと)はいいよね
2. なぜPRしないのか？そもそも困っていないのでは？
3. スマホって便利！PRについて(Siriに頼ろう)
4. 文化ってなに？ほんとに！
5. 文化ってなに？

#### ■グループ 07

1. 親切なスタッフ(技術、広報、コーディネーター)
2. わかりやすい使い方の仕組み
3. 交通の便
4. 365日空いている安心できる自由に使える場所
5. WIFI環境

#### ■グループ 08

1. 情報がないと始まらない。情報ポータルサイト（ほかの市町村の情報があるもの）
2. 人的リソース（市のサポート・外部の専門家のサポート）
3. 資金面のサポート
4. よりよくしていく仕組み(住民参画で責任を持ってもらう)
5. 石岡市などの近隣のものの広域的な視野で運営を考えていく仕組みにしてはいいのではないか？

## グループ01～08から出た意見

### グループ対話①

あなたは、どんな文化活動だったら、今後、参加してみたいですか？やってみたいですか？

#### ■グループ01

- ・親の関心、余裕度によらない活動
- ・異世代間の交流

#### ■グループ02

- ・会員になる壁がある。気軽に参加できる活動であること。
- ・合唱のミニコンサート
- ・オーケストラを呼びたい
- ・市内の小中学校の音楽会・子供達が練習して発表できる音楽会
- ・目的を共有して集まれるもの

(やってみての課題)

- ・合唱団の発表の場（600人は埋められない）

#### ■グループ03

- ・保育園や小学校で、子どもたちに舞台などを見せてくれる
- ・地域でともに育つことができるような活動（例：山古志村）
- ・出身が青森で、文化には、ねぶたまつりがあった。おまつりは、みるのではなく、参加するのが1番楽しい。参加・体験できるような活動。
- ・去年、小美玉市のみの〜れで、肝高の阿麻和利という舞台が行われた。これは、沖縄県うるま市の中高生が出演している舞台。地元の人たちと一緒にすることができるような舞台。

(やってみての課題)

- ・音楽活動の場がなくなり、駅前の空き店舗で音楽イベントを開催したことがあったが、企画運営は大変
- ・まちの文化一日体験（PR不足という課題）

(取り組みたいけど、取り組めない理由・課題)

- ・自分が、子どもの頃は、遊びたい放題だった。いまの子どもは習い事がたくさんあってかわいそう。

#### ■グループ04

- ・小学校や子ども会に来てくれるのがいい。施設に来てほしい、使ってほしいというよりも、自分たちで回っていくのはどうだろう？子どもの頃に、プロの舞台に見られるのは刺激的。
- ・石岡のおまつりはおもしろい。関わりたい。間口を広げ、観るだけではなく参加できる仕組み。
- ・外国の人と関わるときに、地元の文化を知っているのはとても大切。アイデンティティになるような文化活動。

(すでに行っている)

- ・アーティストの作品だけでなく、作品が生み出される過程を知れる機会をつくる活動を、仕事+αで行っている。

## ■グループ05

- ・子どもが個で遊ぶことが多いので、地域の方に教わる昔遊び
- ・子どもが安心して、自由に遊べる場や機会・自由に遊べる場があることと、それを見守ってくれる大人がいる。子どもたちが何かやるときにヒントになるようなことを教えてくれるひとがいたら…
- ・子どもたちに創作の機会を与えてあげたい

(取り組みたいけど、取り組めない理由・課題)

- ・子ども会の人数も減り不活性。ほかの団体も同じような状況。どんな風に子どもたちとのつながりをつくったらいいのか。今の子どもたちは、考え方、感じ方が違うかなと思うときがある。
- ・子ども会という形から違うかたちを探らないと難しくなっているのかもしれない。

## ■グループ06

- ・子どもがやりたいことを自ら企画して、実行できるような活動

(過去の文化活動の振り返り)

- ・子どもたちは、スポーツ少年団（バレー・野球）に参加していたが、自分自身は仕事一辺倒だったから、あまり関われなかった
- ・どの地域にも子ども会があり、地区の公民館などでイベントをやっていた。お盆のころは田んぼの真ん中で花火大会をやっていた。
- ・若いころに青年団（全国組織）を立ち上げた。瓦会地区は500軒ほどあるが、1軒1軒回って、会員を募集し、盆踊り大会を立ち上げた。櫓の作り方を教わり、婦人会の皆さんに盆踊りの踊り方を教わった。統一劇場をよんで、柿岡中学校の体育館で、ミュージカルの公演を行った。バイクや自動車に、地区の住民を乗せて、連れて行った。社協の応援があった。

(取り組みたいけど、取り組めない理由・課題)

- ・今年から子ども会にはいった。子ども会から石岡のおまつりに出ている。今年はコロナでとにかく活動ができなくて、どういう活動をしているのか正直分からない。
- ・子ども会に入っているが、本当に子どもが少なくて、活動がない。

## ■グループ07

- ・石岡市の民謡舞踊連合会のメンバーとして活動している。子どもたちと一緒に日本舞踊とか学べる機会をつくりたい（会に参加している子どもは5人くらいで少ない）
- ・鬼滅の刃がブーム。和服などに関心を持っている。子ども向けのワークショップなどあったら、子どもたちに文化を伝えられるのではないか。

(過去の文化活動の振り返り)

- ・子どものときに福岡県に住んでいて、福岡のこども劇場に入っていた。私が入っていたときは最盛期。自分の小学校の体育館にプロの演劇が来て、刺激的だった。
- ・子どもの頃、市内で地域活動に参加していた。大人になってそれが残っている。

#### (取り組みたいけど、取り組めない理由・課題)

- ・子どもに何を体験させたいかを考えているから、自分自身（親世代）は、何がしたいかと聞かれると難しい。
- ・スポーツや習い事（ダンス）など、チーム数が増えて、ただでさえ子どもが少ないのに、子どもが分散してしまう。やろうという方がいてくれても、続かない。継続して続けられるようなことが大切なんじゃないかな。
- ・移住して子育てしている。文化的なものに触れさせたいと思うが、そう思うところ（水戸・つくば）は遠い。数年前まえまで、小学校で芸術鑑賞会があったような気がするが、数年なくなっている。

### ■グループ08

- ・コロナもあって、活動も減っているなかでも、子どもたちが参加し、体験できる文化活動
- ・近隣市町村の文化施設を相互利用しながら、広域的な視野でかかわっていける活動

#### (過去の文化活動の振り返り)

- ・自分の文化活動として、思い出すものがあまりない。親の立場では、子ども会で舞台をよんだことがあった。
- ・子どものころに、スポーツはやってしたが、文化活動のイメージがない。スポーツを通じて、チームでやることを学んだ。文化活動は、自分のまちのことやひとを知れるから、参加したほうがプラスになるとは思っている。
- ・石岡市の文化活動はなかなか思いつかない。一方、小美玉市は3つのホールがあり、自分自身、みの〜れの企画実行委員をやっている。石岡の施設を使わずに、小美玉市の施設を使っている現状。

#### (取り組みたいけど、取り組めない理由・課題)

- ・石岡市民も、小美玉市の関係(3ホール)みの〜れ、アピオス、コスモスを使い、石岡の施設に関しては使いつらいというイメージをもっている。

### グループ対話②

文化活動が生まれたり、活性化したりするための仕組みや機能は何だと思えますか？

必要な仕組みや機能のベスト5（その理由も含めて）は何ですか？

### ■グループ01

1. 見られる(知る)場所があること
2. ○○をやる団体があること
3. 発表する場所があること
4. 集まれる場所があること
5. 自由に(安く)できること

(仕掛け) バンドでも、絵でも、なんでもいいがクリエイティブなことをしているかっこいい大人に若者が出会える。こんな大人になりたいと思ったら、若者の文化活動は始まっていく。仲間で集まれる場、発表できる場

(機能) スタジオ、料理教室、会議室、スポーツ/茶道ができる場所

(利用料) 住民は無料で使えたらいいが、税金が下がるからそれは厳しいと思う。せめて、住民が利用したときは割引などがあるといい。

(規模) 大きいホールはいらない。中央公民館などを有効に使えるようにすれば…。

(情報) 参加したい気持ちがあっても、情報が入ってこないと参加できない。情報を得られる機会が大切。市民広報チームとかもいいと思う。人が集まる場所にある掲示板や、SNSで発信。

## ■グループ02

- ・文化活動をしたい人をつなげるコーディネーター
- ・音響やピアノなどの設備のよさ
- ・市民参加の人が運営チーム
- ・社会福祉協議会のミニサロン
- ・若い世代などの楽しいお祭り体験

(仕掛け) 文化活動をしたい人の意欲を引き出し、文化を伝えたい人とのマッチング。世代を超えて気軽に集まれる

(課題) 市民会館と公民館の利用方法には違いがある。公民館はしぼりがきつく、使いにくい。また公民館は予約するとき、直接公民館に行かないといけなくて、使う立場になると場所を確保するのが大変。予約は1か月前からの受け付けで、毎月1日の午前9時に受付を開始するが、午前7時に行って順番を取っているのが現状。

(情報) 情報発信重要、SNS

## ■グループ03

- ・プロの文化に触れられる。参加できるワークショップ
- ・場所というと施設（ハード）というイメージだが、コミュニティ（同じ理念の人が集まる人）が生まれる場が大切。出会いとコミュニティが原点。
- ・道を歩行者天国にして、そこで何か展開するという発想（→小美玉が参考になる）
- ・人の育成をしていく

(情報) 舞台の企画をしても、集客できない。PR不足なのかもしれない。

(仕掛け) 自宅でせんべい焼きの体験講座をやっている。いつのまにか、公民館でやってほしい、うちのグループでやってほしいと依頼がくるようになった。小さいグループをたくさんつくるのが大切。小さく始めるのが大切で、それを大切に続けていくと、広まっていくと思う。

## ■グループ04

- ・箱物ありきで考えない
- ・市内での活動をもっと見える化させること（→興味ある人をつなぎ合わせる仕組みが大事）
- ・ZOOMなどを活用し、オンラインの場をもっと活用していくこと

(仕掛け) おまつりは最大の文化活動のひとつ。町内に属していなくても、石岡のおまつりに、参加できるようなものがあればいいな。やってみたいと思っても、行きにくい、恥ずかしいという気持ちがあ

る。おまつりも練習の場を発信してくれたらいいな。総社宮主催で、youtubeでのお囃子ライブ配信があった。その場にいけなくてもネットが使えるのはいい。石岡のおまつりを良くしていきたいしつなげていきたいが、人が減り、このままでは難しい。オープンにしていく部分も必要。市役所が未来石岡枠で新しい山車を創ってもいいんじゃない

(仕掛け) 酒造りも文化。市内には、おもしろい活動をしている人がいる。文化活動は、敷居の高いものではない。それが見えるようになる仕掛け。

(仕組み) おもしろそうだから、個人的に聞きたいと思っても、なかなか行けない。市役所を通して、入っていただけたいな。おもしろそうな話しが可視化される仕組み。

(課題) 長野のやまのなかのほうが、地元の情報共有しっかりしている。自分たちのこと知っている。自分たちのアイデンティティを見つめ直すことが大切。石岡のアイデンティティってなんだ。

(課題) 施設を作ったから活用してくださいというのは、バブル期のアプローチ。一番必要なのは、熱意のある人がいる施設は、僻地でもいく。

(情報) アグリカルチャーもカルチャー。耕すこと。1次産業にも2次産業にもカルチャーはある。薬草関係の集まりに行ったときに、ツムラの石岡工場はすごいんだよと言われた。日本の薬草は、石岡を通過してきている。仕事の価値が分かったうえで、働けるようになる情報。

## ■グループ05

1 足の便が大切。アクセスのよさ

2 自分のアイデアを形にしやすい・人がつながれる

3 まつりを学べたり、体験できたりする施設

(利用方法) 文化の施設自体が、使いやすいこと

(交通の便) 立派な施設をつくっても、行く足がなかったら利用できない。

(仕組み) ひまわりの館を利用するとき、バスがなくて、途中で帰らないといけなかった。文化企画のときは、市のバスを送迎に使えるなどの仕組み

(仕掛け) 子どもたちが自由に遊べる場。見守る大人たちがいる

(仕掛け) 文化を考えるうえで、このまちに住んでいることの誇りをどう育てるか。まちの歴史を知ることが大切。災害がなくっていいとは言われるけど、「これだ」といえる文化は聞かれると答えられない。文化が育っていけるような場になったらいい。

(仕掛け) 八郷の子どもたちは自分で行けない。学校に出張してというのはありだと思う。

(仕掛け) 自分がこれをやりたいと思ったときに、それが実現できるような環境が整っていること。住民のひとが主催者側に回れる仕組みがあったらいい。住民の思いと市のノウハウがマッチして形になっていくというのが素敵。(住民プレイヤー・プロデューサー育成)

(機能) 石岡の歴史が見えるようになっている。子どもたちが学べるような場。石小隣に「ふるさと歴史館」があるが、歴史がある割には、そういうものがない。マップ。

(機能) 石岡といえばおまつり。でも年番のこととか、中身が見えない。観光的に見ることはできるが、学べるワークショップがあったら。そういうのを各地域の公民館と農協跡地とか、学童とか。市民講師制度にも、地域のことを学べるメニューがあれば。

(利用料) 費用が高いとやれないから、費用的には安く使えるといいな。

## ■グループ06

1. 人が集まれる場所(こと)はいいよね
2. なぜPRしないのか？そもそも困っていないのでは？
3. スマホって便利！PRについて(Siriに頼ろう)
4. 文化ってなに？ほんとに！
5. 文化ってなに？

(情報) 文化活動の定義難しい。文化ってなんだ。幸せに暮らせるための何かと定義する。そういう活動の情報を得られる環境が必要。例えば、siriに「石岡市、今日、何が楽しい？」と聞いたら、答えてくれるみたいな。

(課題) 情報を取りに行くところが少ない。PRそのものが弱い。個人が情報を出す感じが少ない。

(課題) この地域は、いろんな作物がとれる。東京に近いから売り先もある。てんでバラバラ、個人で動いてもなんとかなる、恵まれた土地。だからまとまって、何かということが少ない。

(機能) カフェがあるといいと意見があるが、カフェは商業？文化なのか？文化と商業の問題。目的が文化活動につながる位置づけだったら文化施設に入れてもいいのでは。(しかし何をもって文化施設なのか)

(機能) 交わってまとまって文化活動ができる(それが市民会館?) いろんな人が集まる場があること。石岡にあるいろんな活動がわかる。つなげる。zoom会議みたいなことが定期的にやって繋がれる。zoom会議に子どもたちも入ってこられる。

## ■グループ07

1. 親切なスタッフ(技術、広報、コーディネーター)
2. わかりやすい使い方の仕組み
3. 交通の便
4. 365日空いている安心できる自由に使える場所
5. wifi環境

(利用方法) 大きな団体ではないと借りられなかった。個人(ヨガ・語学)でも借りられるような設備。予約がしやすい。・分かりやすい使い方の仕組み。どうやったら使えるのかが分かりやすい。

(運営) 人の目がないと子どもを安心して行かせられない。常駐してくれる施設の人が必要。羽鳥駅隣の図書室は午後10時まで。今の生活にあったサービスがほしい。親切なスタッフ(公共施設のルールは、細かく作りこまれているから分かりにくい)

(情報) 石岡市・商工会議所・農協などの大きな組織が連携した情報発信・情報共有の場(ネット上)

(料金) 利用しやすい料金であること

(交通の便) バス(交通機関)交通の便(八郷地区の親は子の送迎に時間がかかっている。1日中送迎しているよう。習いごとを選ぶときも、親の手間がかからないかという視点で選ぶくらい)

(仕掛け) 屋外、屋内自由に入出りできる。小学校の校庭ですら、自由に遊べない現状。・ほかの施設と連携して使える仕組み。若者がチャレンジできるギャラリーカフェスペース

(設備) wifi環境

(規模) 民間では不可能な規模(小さいホールは民間でも用意できる)。大きい大会などだと市外の人に来ることもある。非市民も誘えるようなクオリティ

## ■グループ08

1. 情報がないとはじめられないので、文化活動が分かるような集約サイト。情報のポータルサイトがある  
といい→ほかの市町村の情報があるもの
2. 人的リソース（市のサポート・外部の専門家のサポート）市のひとがサポートして、安心安全な場をつくってくれる。なんか問題があったときに対応してくれる
3. 資金面のサポート（文化活動を支援してくれる補助金）
4. よりよくなっていく仕組み(住民参画で責任を持ってもらう)。他市町村のより良い運営の仕方を取り入れられるような仕組み
5. 石岡市などの近隣のものの広域的な視野で運営を考えていく仕組みにしてはいいのではないか？

(課題) 石岡に住んでいるが、子どもの頃から、みの〜れを使っていて、今、みの〜れの企画実行委員をやっている。小美玉市は住民参画を大切にしている。自分事として、自分たちのまちを良くしていくという意識がある。石岡市はどうか？